

2017年（平成29年）1月23日（月曜日）

## 食品・薬向け添加物のキミカ

### 国内生産拠点を拡張

食品などの粘りや保湿性を高める添加物「アルギン酸」国内最大手のキミカ（東京・中央、笠原文善社長）は国内主力の千葉プラント（千葉県富津市）を拡張する。投資額は3年間で約30億円。

中間製品から最終製品まで一貫管理する建屋を新設し、月間出荷量を3割以上増やす。食品や医療分野向けの販売拡大につなげる。

千葉プラントに隣接する約2万4000平方メートルの土地を取得しており、2017年に新棟の建設

を始める。チリなどの海外生産拠点で精製する中間製品の一部も管理し、千葉プラントの出荷量を月220トから300トに引き上げる。このほかアルギン酸の精製や排水処理を担う建屋もそれぞれ新設する。

キミカはチリで採れる海藻からアルギン酸を抽出する。麺やパンの食感改良や胃の粘膜を保護する薬として使われる。